



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社 アサックス

上場取引所 東

コード番号 8772 URL <https://www.asax.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草間 庸文

問合せ先責任者 (役職名) 総務統括部長 (氏名) 松川 雅一

TEL 03-3445-0404

四半期報告書提出予定日 平成30年2月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	4,579	3.7	3,227	1.2	3,224	1.3	2,092	1.3
29年3月期第3四半期	4,757	4.0	3,267	6.3	3,267	6.3	2,119	9.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	190.40	
29年3月期第3四半期	192.83	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	70,073	32,239	46.0
29年3月期	69,681	30,641	44.0

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 32,239百万円 29年3月期 30,641百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		45.00	45.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,764	7.9	3,885	8.3	3,885	8.3	2,522	7.9	229.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	10,993,500 株	29年3月期	10,993,500 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	1,500 株	29年3月期	1,500 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	10,992,000 株	29年3月期3Q	10,992,000 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益は引き続き堅調に推移し、設備投資や雇用状況も概ね安定的であったことから、緩やかな回復基調が継続しております。

不動産金融市場においては、日銀による金融緩和により、資金調達環境が引き続き良好であることを背景に、不動産の流動性も堅調な状況で推移いたしておりますが、これまで上昇傾向にあった地価は一部で頭打ち感が見られ、先行きについては留意する必要があります。

このような環境の下、当社におきましては、顧客獲得競争の激化が懸念される中であっても、従来通り「債権の健全性」を重視した顧客開拓を行ってまいりました。

その結果、当第3四半期末における営業貸付金残高は、前事業年度末の66,365,295千円から843,288千円(1.3%)増加の67,208,583千円となりました。

当第3四半期累計期間における経営成績は以下の通りであります。

営業貸付金利息は、期中平均営業貸付金残高が前年同四半期比1.0%の増加となったものの、貸出利率の低下により前年同四半期比182,446千円(4.7%)の減少となりました。

その他の営業収益は、手数料収入が前年同四半期比54,244千円(11.2%)の増加となったものの、解約違約金が前年同四半期比54,469千円(19.8%)の減少となったこと等により、前年同四半期比4,091千円(0.5%)の増加となりました。

以上により、当第3四半期累計期間における営業収益は、前年同四半期比178,354千円(3.7%)の減少となりました。

金融費用は、期中平均有利子負債残高が前年同四半期比4.1%の減少となり、平均調達金利も低下したことにより、前年同四半期比103,407千円(23.3%)の減少となりました。

その他の営業費用は、前年同四半期比15,611千円(1.5%)の減少となりました。

以上により、当第3四半期累計期間における営業費用は、前年同四半期比138,497千円(9.3%)の減少となりました。

営業外損益、特別損益ともに利益に大きな影響を与えるものはなく、法人税等合計は前年同四半期比14,755千円(1.3%)の減少となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、営業収益は4,579,376千円(前年同四半期比3.7%減)、営業費用は1,352,106千円(同9.3%減)となり、営業利益は3,227,270千円(同1.2%減)、経常利益は3,224,092千円(同1.3%減)、四半期純利益は2,092,927千円(同1.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末の68,964,858千円から442,545千円(0.6%)増加の69,407,404千円となりました。これは主として、営業貸付金が843,288千円(1.3%)の増加となったものの、現金及び預金が756,777千円(33.2%)の減少となったこと等によるものです。

固定資産

当第3四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末の716,872千円から50,755千円(7.1%)減少の666,116千円となりました。これは主として、投資その他の資産が24,389千円(4.5%)の減少となったこと等によるものです。

② 負債の部

流動負債

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末の13,816,783千円から1,338,126千円(9.7%)減少の12,478,657千円となりました。これは主として、1年以内返済予定の長期借入金が913,386千円(7.1%)の減少、未払法人税等が412,830千円(53.6%)の減少となったこと等によるものです。

固定負債

当第3四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末の25,223,464千円から131,629千円(0.5%)増加の25,355,094千円となりました。これは主として、長期借入金が129,179千円(0.5%)の増加となったこと等によるものです。

③ 純資産の部

配当金の支払い494,640千円があった一方、四半期純利益を2,092,927千円計上したことにより、利益剰余金が前事業年度末比1,598,287千円(5.6%)の増加となり、当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年末の30,641,482千円から1,598,287千円(5.2%)増加の32,239,770千円となりました。なお、自己資本比率は46.0%(前事業年度末は44.0%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間における業績は、平成29年4月27日発表の業績予想を上回る水準となりましたが、平均貸出金利が低下傾向にあることや、競争が激化していること等を勘案し、通期業績予想につきましては、平成29年4月27日に発表いたしました業績予想からの変更は行いません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,279,511	1,522,734
営業貸付金	66,365,295	67,208,583
販売用不動産	5,367	32,430
前払費用	27,112	25,529
繰延税金資産	89,836	46,586
その他	270,934	645,940
貸倒引当金	△73,200	△74,400
流動資産合計	68,964,858	69,407,404
固定資産		
有形固定資産	110,134	91,521
無形固定資産	68,537	60,784
投資その他の資産		
破産更生債権等	12,889	12,854
その他	538,110	513,756
貸倒引当金	△12,800	△12,800
投資その他の資産合計	538,200	513,810
固定資産合計	716,872	666,116
資産合計	69,681,730	70,073,521
負債の部		
流動負債		
1年以内返済予定の長期借入金	12,903,759	11,990,373
未払金	33,395	35,596
未払費用	45,567	52,480
未払法人税等	770,712	357,882
預り金	22,683	27,691
前受収益	12,382	11,156
賞与引当金	28,248	3,459
その他	33	16
流動負債合計	13,816,783	12,478,657
固定負債		
長期借入金	24,167,500	24,296,680
退職給付引当金	70,200	66,800
役員退職慰労引当金	973,750	977,625
その他	12,014	13,989
固定負債合計	25,223,464	25,355,094
負債合計	39,040,247	37,833,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,307,848	2,307,848
利益剰余金	28,334,884	29,933,172
自己株式	△1,250	△1,250
株主資本合計	30,641,482	32,239,770
純資産合計	30,641,482	32,239,770
負債純資産合計	69,681,730	70,073,521

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業収益		
営業貸付金利息	3,879,023	3,696,577
その他の営業収益	878,708	882,799
営業収益合計	4,757,731	4,579,376
営業費用		
金融費用	444,584	341,177
売上原価	21,386	1,907
その他の営業費用	1,024,633	1,009,021
営業費用合計	1,490,604	1,352,106
営業利益	3,267,127	3,227,270
営業外収益		
受取利息	18	11
関係会社貸付金利息	66	272
受取手数料	40	268
償却債権取立益	90	198
雑収入	622	1,410
営業外収益合計	837	2,161
営業外費用		
固定資産除却損	—	5,339
営業外費用合計	—	5,339
経常利益	3,267,965	3,224,092
特別利益		
固定資産売却益	53	2,439
特別利益合計	53	2,439
税引前四半期純利益	3,268,018	3,226,532
法人税、住民税及び事業税	1,100,336	1,085,828
法人税等調整額	48,022	47,775
法人税等合計	1,148,359	1,133,604
四半期純利益	2,119,659	2,092,927

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。